

# IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第12号

発行：学校法人国際医療福祉大学  
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7115



大学構内でみこしを担ぐ、新成人の学生たち  
(記事5ページ)



英語スピーチコンテストの  
一場面  
熱弁をふるう学生たち  
(記事4ページ)

## = 目次 =

	ページ		ページ
新年によせて	2	報 告	4
新年ご挨拶	2	大田原市身体障害者ケアガイド	4
新年の感想	2	ライン試行事業始まるノ	4
出来事	2	国際交流活動研修会シンポジウム	4
学長の日程から	2	「私の考える交流・協力のあり方」	4
大学来訪者	2	に参加して	4
大谷学長から大臣への意見具申	2	語学教育センター主催「第一回学長	4
動物慰霊祭	2	杯英語スピーチコンテスト」	4
お知らせ	3	学科・センターだより	4
医療福祉学部を新設	3	看護学科	4
国際医療福祉大学クリニック	3	理学療法学科	5
開院のお知らせ	3	作業療法学科	5
平成9年度学年暦	3	言語聴覚障害学科	5
学生会から	3	放射線・情報科学科	5
委員会報告	3	医学教育センター	5
教務委員会	3	語学教育センター	5
国際交流委員会	3	教員紹介	6
紀要委員会	3	リレーエッセイ	6
情報化委員会	4	編集後記	6
図書館受入図書	4		



撮影：作業療法学科2年  
河脇重文(写真部)

## 新年によせて

### 新年ご挨拶

理事長 高木邦格

明けましておめでとうございます。  
時のたつのは早いもので、本学も2度目の新年を迎えました。今年は医療福祉学部の増設、国際医療福祉研究所の設立、さらに国際医療福祉大学クリニックの開院と新たな出発が続きます。



医療福祉学部は医療経営管理学科と医療福祉学科の2学科で、この学部が設立されることで医療福祉全般を包括する学府となることが期待されます。本学は広い視野にたつ人材の育成を目標としており、学部の増設により、保健学部の学生にも医療福祉を総合的に学ぶ機会をより多く提供できるようになると思います。

国際医療福祉研究所は、学外や民間企業の研究者にもご参集戴き、わが国でも初めての医療福祉分野の総合的シンクタンクとする予定です。

大学のクリニックには、アジアでも有数の言語聴覚センターと学生並びに教職員のための健康管理センターが設置されます。カウンセリングにも力をいれていきたいと考えておりますので、有効に利用して頂くようお願いいたします。

また、新入生を迎え入れるまでにはレストランの増改築を行うなど、学生の増加に見合う様々な改造を順次行っていく予定にしています。

この4月からは学生数も2000名近くになる見込みです。学生としてのルールを守りながらそれぞれの個性を存分に発揮できる大学を皆さんで作ってあげていく戴きたいと思っております。

### 新年の感想

学長 大谷藤郎

明けましておめでとうございます。  
「一年の計は元旦にあり」計画はたちましたか。夢はいっぱいですか。大学もいよいよ3年目を迎えます。「石の上にも三年」皆さん、この大学に来てなにかができましたか。なにかが生まれましたか。



芭蕉は那須野が原が気に入って「奥のほそ道」の途次20日近く滞在しました。それだけなのに、その中に「仏五左衛門」に始まる珠玉の6章を今に遺しました。那須での最後の句は「田一枚うえて立去る柳かな」。何百年か前に西行が歌に詠んだ同じ柳です。いつかダブス先生から「日本の代表的詩人は誰か」と聞かれて、芭蕉と西行と答えましたが、同じ自然環境におかれてもなにも遺さない私と何百年の後の世までも何行かの

文字で感動を与え続ける人とは違えますね。

厚生省時代、筋ジスの子供さんが必死で日記や詩や絵を書き死んでいかれるのをみた。第二次大戦中の日本軍戦死兵士の残したおびたしい日記は米軍を驚かせた。それらから受けた私の感動は素晴らしい日記は米軍を驚かせた。それらから受けた私の感動は素晴らしい日記は米軍を驚かせた。それらから受けた私の感動は素晴らしい日記は米軍を驚かせた。それが彼らをそうさせたのでしょうか。才能かな、チャレンジ精神かな。ヴィ・アンビシャス!

## 出来事

### ◇学長の日程から

\*平成8年12月1日(日)

日本医事法学会総会特別講演(東京医科歯科大学)

\*平成8年12月3日(火)

日本漢方医学研究所理事・評議員会

\*平成8年12月6日(金)

聖マリアンナ医科大学特別講義

### ◇大学来訪者

\*平成8年12月20日(金)

自治医大医動物学教室 石井明教授他4名

他 視察団体3件、41名

### ◇大谷学長から大臣への意見具申

厚生省公衆衛生審議会会長である大谷学長は公衆衛生審議会の総意として、「成人病を生活習慣病と改める」よう昨年12月18日小泉厚生大臣に意見具申を行いました。この模様はテレビや新聞で全国に伝えられました。厚生大臣は会見後「国民一人ひとりが生活習慣の改善に取り組めるよう諸対策について検討する」と発表され、今後は国全体として生活習慣病対策の名で、がん、脳卒中、心臓病、高血圧、糖尿病などの予防が行われることになりました。

### ◇動物慰霊祭

12月17日、午後5時から約1時間、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚障害学科の学生、合計約300名が集まり、生理学実習で用いた動物の慰霊祭を行いました。最初に、本年度生理学実習において行った動物実験の内容とその意図の説明、動物慰霊祭の開催趣旨の説明があった後、大谷学長、教職員の代表、生理学実習での各グループ代表による献花が行われました。その後、間藤医学教育センター長から動物実験の行い方、考え方、学習態度についてのお話を頂きました。動物実験に限らず、医療全般にわたり、「自分がその立場(例えば動物の立場、患者の立場)になったらどうか」を考えながら行動することが基本的に重要であり、動物実習にしても、毎日の大学での生活にしても、多くの人々の協力で行われていることを自覚し、できる限り多くのことを学びなさいという貴重なお話でした。  
(黒澤美枝子)

## お知らせ

## ◇医療福祉学部を新設

今年4月、本学に医療福祉学部が新設されます。

この学部は医療経営管理学科と医療福祉学科からなり、共に定員100名です。医療経営管理学科は日本初の学科で、医療機関等での実務経験豊富な先生方が就任します。講義科目も医療施設建築概論、診療報酬点数理論・演習など目新しい科目が用意されています。また医療福祉学科も国内では3つ目で、従来の社会福祉関連科目のほか医療関係の科目もあり、また社会福祉士の国家試験科目をすべて必修にした学科として、将来高い国家試験合格率が期待されています。

## ◇国際医療福祉大学クリニック開院のお知らせ

今年3月、大学の敷地内に国際医療福祉大学クリニックが開院いたします。このクリニックは1階が健康管理センター、2階に言語聴覚センター、3階は研究室等になっております。健康管理センターでは学生・教職員の日常の健康管理や健康診断を行います。診療科目は、内科、整形外科、耳鼻咽喉科、歯科を予定しており、精神保健相談も実施する予定です。言語聴覚センターは、言語・聴覚等に障害をお持ちの方の相談・評価・治療を行う施設で全国一の設備が整っており、言語聴覚障害学科の学生の臨床実習の場としても利用いたします。

## ◇平成9年度学年暦

4月7日(月)	入学式
8日(火)	オリエンテーション(1年生)
~11日(金)	前期履修登録受付期間
9日(水)	オリエンテーション(2、3年生)
10日(木)	前期授業開始
22日(火)~24日(木)	前期履修登録変更期間
26日(土)	体育祭(5月24日(土)となる可能性あり)
5月1日(木)	創立記念日(講義開講せず)
7月16日(水)	前期授業終了
17日(木)~25日(金)	前期試験期間
26日(土)	大学説明会
28日(月)	学内研究発表会
30日(水)	大学説明会
8月1日(金)~9月26日(金)	夏期休業期間
30日(土)	大学説明会
9月1日(月)	実習及び補講開始
8日(月)~12日(金)	後期追・再試験期間
29日(月)	後期授業開始
~10月2日(木)	後期履修登録受付期間
10月15日(水)~17日(金)	後期履修登録変更期間
25日(土)~26日(日)	大学祭
12月24日(水)~1月6日(火)	冬期休業期間
1月7日(水)	授業開始
20日(火)	後期授業終了

21日(水)~29日(木)	後期試験期間
30日(金)~2月27日(金)	補講、実習予備期間
2月16日(月)~20日(金)	後期追・再試験期間
3月2日(月)~	春期休業開始

## ◇学生室から

学内駐輪場が増設されました。

本学では、A棟西側の駐輪場を増設するため、昨年12月から工事を進めていましたが、このほど完成し、1月8日の授業開始より使用できるようになりました。工事では、これまでの駐輪場と同じ広さのものをさらに2棟増設。収容能力はこれまでの3倍にアップしています。

なお、これら駐輪場の増設と併せて、運用についても一部変更し、バイク・自動二輪専用として使用していきます。自転車通学の皆さんのご協力をお願いいたします。

## 委員会報告

## ◇教務委員会

教員研修会の開催について

兼ねてより検討中であった「教員研修会」を平成9年2月27日(木)に開催することになりました。教務委員会の小委員会(委員長:宮尾洋子教授)で検討され、小規模ながらも本学において、1日のスケジュールで本学教員による教育のあり方を語る場としてスタートします。本学の教育のあり方は、本学の独自性を大切にしながら、教員らが語り合い、より良いものを産み出していくことが求められます。是非有意義な場にしていただきたいと切に願います。

## ◇国際交流委員会

国際性を教育理念のひとつに掲げた本学も2年目を迎え、留学生、帰国子女、海外生活体験の学生もふえました。海外研修に参加したり、交流活動のシンポジストとして招かれたり、学生の国際的活動も顕著となってきました。今後、海外での研修、ボランティア活動への学生の参加も増加すると考えられるので、大学の対応、教員の関わり方などについての素案を委員会で検討しており、まとめて提言したいと考えています。新しき年が大学、学生にとって国際的に飛躍の年となることを祈ります。

## ◇紀要委員会

第9回委員会を昨年12月10日(火)に開催し、紀要第1巻の著者校正の進捗状況、印刷製本の日程等を検討し、何とか年内に教職員の皆さまにお届けすることができました。当初、著者校正は3校までと考えておりましたが、特別の希望者を除き、著者校正を2校まで

とし、その後は紀要委員会が責任をもって最終校正を行なうことにしました。各学科および各センターにおきましては紀要の発送先をリストアップしていただきますようお願いいたします。紀要第2巻については投稿未着の論文の対策を練るとともに、このために発行が遅れることのないようにすることを確認しました。

#### ◇情報化委員会

学内LANシステムについて最終的な仕様が確定し、IBM社と契約を締結しましたので、第4回の情報化委員会を平成8年12月16日に開催しました。(1)研究・教育システム(2)事務システム(3)インターネット(4)図書システムの四つの機能を満たすシステムとなっていることの再確認、導入機器・機能の確認、導入スケジュールの検討について承認を得ました。導入スケジュールの概要は、平成9年2月中旬までにパソコンを該当部署に配付、3月末までにサーバの調整、メール関係調整、図書システム開発、事務システムの開発を終了し、4月初旬から全システムの稼働を開始する予定となっております。今後、インターネットやメール利用法・パソコン操作などの教育を情報化委員会で調整し実施していく予定にしています。

#### ◇図書館受入図書

12月10日現在、寄贈図書についての受入は下記のとおりです。(順序は受入順)

大谷学長：医療関連サービス振興会 第5回シンポジウム講演録(1996)、その他

松本正弘様：高齢者「ケア」施設マニュアル(1996)  
言語聴覚障害学科：日本音声言語医学会40年史(1995)  
順天堂医療短期大学：順天堂看護教育100周年記念誌(1996)

内閣総理大臣官房広報室：日本の白書 1996年(1996)

山西薫様：アクアサイズ教程2 実技応用編(1996)

浜松ホトニクス：光電子増倍管(1993)

六川玖治様：現代一般化学(1989)

根岸範子様：ラオスの民話(1994)

全労済：高齢者問題文献解説(1996)

寺田謙様：寄生虫学コンパクト講義 読むワクチン(1995)

今井四郎様：パターン認知の変換構造説(1986)、その他

#### 報 告

##### ◇大田原市身体障害者ケアガイドライン試行事業 始まる!

上記事業に対して、市から本学に協力依頼がありました。この事業は、身体障害者を対象としたケアマネジメントを確立するために、厚生省の依頼により全国5カ所の地域でガイドラインを実際に使ってみようというものです。平成8年11月末から、看護・理学療法

・作業療法・言語聴覚障害各学科が調査研究委員会(委員長に伊藤元信教授が就任)と二次評価(調整者は杉原素子教授)に参加しており、期限に追われながらも理想的なチームアプローチをめざして、各教員、家庭訪問やケア会議にはりきって臨んでいます。

(看護学科 福島道子)

##### ◇国際交流活動研修会シンポジウム「私の考える交流・協力のあり方」に参加して

文部省、日本ユネスコ国内委員会、栃木県教育委員会主催のシンポジウムに参加しました。発表者はバキスタン、アメリカ、ザイル等でした。それぞれの立場から見た日本の印象が話されました。国際交流のパーティーでは日本人同士、外国人同士のグループで話し、本当の意味での国際交流になっていないと思いました。交流会を通して自分の考え方や意見を広く周りの人に伝えることが大切だと思います。このシンポジウムでお話しする機会を頂いて嬉しく感じました。今後多くの人々の意見を聞く機会があるといいと思いました。

(理学療法学科2年 付栄)

##### ◇語学教育センター主催「第一回学長杯英語スピーチコンテスト」の優勝者は松永潤さん(理学)

1月14日午後6時から、2年生20名が学長杯を目指して英語で熱弁をふるいました。各クラスから選ばれてきただけに、いずれ劣らぬ名スピーチでしたが、都築先生、城間先生を含む5人の先生方の審査の結果、優勝は松永潤さん(理学)、準優勝は森谷辰裕さん(放射)、3位は泉智子さん(言語)となり、大谷学長から大きなトロフィと盾が、宮尾センター長からは賞品が贈られました。健闘した参加者全員、総合司会の林辰昕さん(放射)、キャンパスソング作曲の谷先生、真鍋淳さん、歌唱の溝口先生にも大きな拍手がおくられました。(言語)



森谷さん、松永さん、大谷学長、泉さん、林さん

#### 学科・センターだより

##### ◇看護学科

新しい道づくりは元気に

謹賀新年ノ広大な那須野の全面面を眺めての2回目

の正月です。冷たく澄んだ空気の季節は山並みもハッキリ望め、天地のスペースの大きさは、眺める人間の気持をも膨らませます。新しい発想を限りなく前へ向け、若い力を信じ、その成長のスペースを充分にとることが教育のかけにも似ていると考えます。伝統を理解しつつも、それに縛られず、自由で、自主的で、より柔軟な対応を、すべてにしていける努力をしたいものです。2つの学年それぞれ個性の異なる集団です。押しつぶされそうかな？と声をかけると「元気でーす」と声が返って来ます。そう、皆んな、元気でいこう！！  
(荒井榛子)

#### ◇理学療法学科

祝成人！

1月11日(土)成人式を行ないました。新成人約80名の皆さん、おめでとうございます。快晴の中、先ずは御神酒で景気付け。次に酒樽の御神輿(手作り)を裸で担いで、水をぶっかけ気合いを入れて、わっしょい／わっしょい／中庭では餅をべったんべったん。式のほうは篠塚専務のお言葉、成人証明書贈呈(丸山Jr.も作成したとか)、鏡割りなど盛り沢山。酔い覚ましは、雪の残るグラウンドでサッカー。ムー長ーい一日、皆さんお疲れ様でした。・・・雑煮がうまかった。

最後に杵と臼を貸して下さった農家の磯さん、警備員の薄井さん、どうもありがとうございました。

(窪川 徹)

#### ◇作業療法学科

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、学内の先生方や職員の方ももとより、地域の関連職種の方や一般住民の方、臨床教育指導者の方など実に多くの方々のご協力により、本学科の教育を順調に進めることが出来ました。ご協力いただいた方々、本当にどうも有り難うございました。

本年は、1期生にとっては折り返しとなる年であり、又、臨床教育は質・量ともに増えることもあり、本学科にとって大変重要な年であると教員一同考えております。本学科の教育に携わっていただいている全ての方々、本年もご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。  
(下田信明)

#### ◇言語聴覚障害学科

「すいとんを食べる会」

「すいとん」そのなつかしい響き。誰もが時間旅行へと誘われつつも、果たして今の学生たちはすいとんを知っているのか？と疑問を感じずにはいられないことでしょう。

冬休目を目前に控えた12月20日、言語聴覚障害学科では「すいとんの会」を開きました。寒空の下、何人

分あるのか分からない、とにかく大量のすいとんが出来上がりました。他学科と同様、学科中で風邪が大流行していたのですが、みんなでわいわいといただいた野菜たっぷりのすいとんが、風邪を吹き飛ばし、身も心もあたためてくれました。  
(田中佳代)

#### ◇放射線・情報科学科

明けましておめでとうございます。開学2度目の新年を迎えました。学生の伸びのびした姿を見ていると本学の将来がますます明るく見えてきます。燦々と陽の光が降り注ぐこの大田原は寒暖の差が非常に激しい。しかし、この寒暖が人間にとって大切であると思います。光は電磁波ですが、エネルギーはその振幅の自乗に比例します。人間も振幅が大きいほど人生は豊かで、楽しいのです。遊ぶときは大いに遊び、学ぶときは大いに学ぶ。そして今や学ぶときが来ました。ここで思い切り自分の身体を学ぶことにつけて、その後でまた大いに遊びまくり、人生を豊かにしたいものです。

(野原功全)

#### ◇医学教育センター

この冬は風邪の当たり年のようです。毎日10人前後の学生が40度近い高熱を出してマロニエ医院を受診しています。近隣の小中学校では学級閉鎖も行われたようですが、大学は教員が風邪をひかないと休講にはなりません。先週、講義の前に教室を見渡すとざっと30人ほどしかいないので、休講にすべきかと迷いました。しかし、出席をとってみるといつもと変わらず90人出席(?)、さすがは大学だとひとりで合点しました。さて、医学教育センター会議では近く開所するクリニックの話題がしばしば出ます。遠くマロニエまで足を運ばなくてもよくなれば、学生教職員の健康増進においてに寄与することが期待されます。

(飯島 節)

#### ◇語学教育センター

“Language is a form of human reason.”

—Lévi-Strauss

あけましておめでとうございます。

大半の2年生は英語の授業と別れる年ですが、これからは英語のみならず外国語に興味を持ち続け学習する機会があるよう願っています。外国語は他文化の人々とのコミュニケーションの道具であり、新しい世界へのパスポートです。他言語学習で論理を組み立てる訓練により日本語の感覚をみがくことにもなります。思考の論理化、言語化こそ、知的生活の基礎であり、大学人にとって必要不可欠なディシプリンです。とにかく、いつでも気軽にLLや研究室をたずねてください。

(宮尾洋子)

## 教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位、②生年、③出身校、④専門分野、⑤直前の勤め先、⑥主要著書・論文、⑦本校における担当科目、⑧趣味。

藤原千織 (ふじわら ちおり)



①看護学科・技術助手、②1971年6月4日、③盛岡赤十字看護専門学校、④特になし、⑤大田原赤十字病院、⑥なし、⑦実習・演習の手伝い、その他、⑧ドライブ(海とか山とか自然の中に行くのが好き。)花や風景の油絵をしてみたいと思って、道具だけはそろえたけど、未だに思っているだけです。結婚してから、なぜか太ってきたので、また20歳の頃の体重に戻りたいと願う今日この頃です。

大石敬子 (おおいし のりこ)



①言語聴覚障害学科・教授、②1940年、③Washington University (Central Institute for the Deaf)、④小児言語障害、⑤都立北療育医療センター、⑥読み書き障害児の指導—神経心理学的アプローチ、⑦言語障害診断学、同演習、小児言語障害学、同演習、⑧一人で静かにお酒を嗜むこと

新井正一 (あらい しょういち)



①放射線・情報科学科：講師、②1960年、③駒澤短期大学、東京理科大学工学部、④医用画像技術学、分子生物学(遺伝子工学)、⑤鈴鹿医療科学技術大学保健衛生学部、⑥医用放射線科学講座 放射線画像技術学(医歯薬出版)1997、⑦医用磁気共鳴論、放射線関係法規、医用画像技術学実験、他、⑧ドライブ、カラオケ(でも最近あまり行けないのでさびしい)

飯島 節 (いじま せつ)



①医学教育センター・教授、②1953年2月10日、③京都大学医学部医学科、④神経内科学、老年医学、⑤東京大学医学部老年病学教室、⑥脳血管障害、痴呆疾患に関するもの、⑦神経内科学、一般臨床医学、⑧スポーツ一般(スキー、ゴルフ、水泳など、レベルは不問)、音楽鑑賞(ジャンル不問)、庭の芝刈り、「マロニエ」で診療すること

江草浩幸 (えぐさ ひろゆき)



①総合教育センター・助教授、②1952年、③大阪市立大学、④知覚心理学、⑤千葉大学文学部、⑥最新認知心理学への招待(共著)、⑦心理学、精神測定法、精神測定法演習、実験計画法、⑧古典的探偵小説のファンです。また、日本全国の地酒を飲み尽くすという野望に燃えています。

## リレーエッセイ

「たこ壺」からの回帰

言語聴覚障害学科 廣田 栄子

久しぶりに会う友人から「大学はいいわね。自由の学府でしょ!」と声を掛けられた。「うーん」と、ことばに窮す。一日は24時間。現実を目前に解決すべき問題の量は如何ともしがたい。むしろ、興味の拡大は処理すべき情報量を増す仕組みになっていて、時にいわば「たこ壺」状態に陥り、思考の柔軟性を欠く。

自由といっても、このような「時間的拘束」からの自由、「行動管理」「社会的構造」からの自由もあれば「精神」の自由もある。そして最後のひとつが意外とその他と密接に関わり合っていることもあながち否定できない。

例えば、同じ状況に対しても前向きな姿勢のときには自由のほとばしりを感じたり、反対に状況に埋没しているときには、縛りの強さのみを感じとる。

また、「あの人はこういう人」という関係認識の固着は、様々な状況で柔らかな感性に基づいて自由な思考を共有することを妨げているかもしれない。

さて、今年は「たこ壺」状況をブレイクスルー。楽しくエネルギーに行きたいものです。

初春を迎え、皆様方の益々のご多幸をお祈りいたします。今年もよろしくお祈りいたします。

次回執筆者：江草浩幸先生(総合教育センター)

## 編集後記

1月5日、大田原の大地に雪が降り積もりました。雪景色の美しさに「雪のようなまっさらな気持ちで1年をスタートしよう!」と思った方も多いのではないのでしょうか。

新年の夢と希望をのせて、「IUHW」第12号をお届けします。年末年始のお忙しい時期に原稿をお寄せくださった皆様、どうもありがとうございました。今年もIUHWをどうぞよろしくお祈り致します。

(飯塚直美)